



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第73号

発行 北海道幌延町議会

編集 議会報発行特別委員会

電話 01632-5-1111

FAX 01632-5-2971

第3回 幌延町議会 定例会

6月13日

おもな内容

第3回定例会	2
地域の課題をとらえて一般質問	3
第2回臨時議会	4
総務文教常任委員会	5
産業厚生常任委員会	5
議会質疑	6
編集にあたって	7

6月13日より定例会が、幌延町民憲章を全員で朗読したのち開会された。

議事日程は、議長による審議宣告のあと、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、町長、教育長による行政報告がなされ、通告どおり鷺見悟氏、斎賀弘孝氏による一般質問が行なわれた。

今回の定例会に付議された案件は、報告4件、諮問1件、議案8件、発議4件、選任1件で、審議の結果、原案どおりすべてを可決し、定例会を同日閉会した。議事の質疑内容を抜粋し、記載します。

報告第2号「有限会社幌延町畜産振興公社の経営状況報告について」

平成24年度は1千35頭が入牧し、死廃事故頭数は5頭と平年と比較すると少なめ、増体量は例年を上回る状況でした。

問 営業収入での雑収入には何かがあるのか。

答 牧場独自で作っているもの、くし代、肺虫の駆虫薬代、牧草の販売代等です。

問 畜産振興公社職員の技術研修の状況は。

答 熟練した職員が全てなので、近年は研修会等の参加はない。しかし、技術の向上を考えれば、今後研修の参加も必要と考える。

報告第3号「株式会社幌延町トナカイ観光牧場の経営状況報告について」

トナカイ観光牧場の入場者数は、昨年より1千4百70人減の4万8千2百44人でした。

引き続き集客の増加を図るためにトナカイの飼育管理向上や花壇の整備、道外客に対しては広域観光PR事業などを活用し、更なる集客を目指す。

問 修繕費が当初予算より大きく増えた理由は。

答 ブルドーザー、トラクターの修繕、配電盤、牧場の修繕など多額の費用が生じたため、予算を補正



して増額した。

議案第5号「平成25年度幌延町一般会計補正予算」

問 新規事業のクラウド型総合行政システムとは、従来のデータシステムとどう違うのか。

答 現在、庁舎にある行政システムのデータを、専門の管理会社へ専用回線により送信、保管を委託する方式で、コストの削減と担当職員の負担軽減を図る。

ミニ解説 クラウドとは？

今までは「システム所有」が町村にある形から「サービス利用」となる。各クラウド運営会社から業務システムの情報を利用する形をクラウドという。



- 質問** 平成12年3月から始まった深地層研究センターの工事は、町のホームペー
ジでは平成31年に終了する
ことになっているが、町長
としてはどう認識してい
るか。
- 町長** 平成12年度の研究開
始から20年程度ということ
で、平成31年度が研究終了
期間だと認識している。平
成26年度中に策定される次
期中期計画において、今後
のスケジュールなども議論
される。
- 質問** 原子力機構の方は2
、3年ずれるという話をし
ているが、可能性があるの
か。
- 町長** およそ20年間でされ
ており、平成31年度で研究
も終了すると押えている。
- 質問** 原子力機構の第11回
地層処分研究開発評価委員
会の議事録を読めば、ジオ
パークとしての活用を指摘
している。町としてなら
かの話があったのか。
- 町長** 関係機関から打診を
受けたようなことは、現在
までない。
- 質問** 「ゆめ地創館」など
の地上施設の跡地利用につ
いてはどうか。
- 町長** 国際交流施設は町が
引き継ぎたい。「ゆめ地創
館」は現段階では計画もな
い。
- 質問** 平成31年度で閉鎖、
撤去、解体するということ
か。
- 町長** 「ゆめ地創館」につ
いては、50m展望台なども
あるが、観光に使うとか、
経済効果が出て来るとい
う話が出て来れば、話は変わ
るかも知れない。
- 質問** 資源エネルギー庁が
行っている電力中央研究所
のコントロールボーリング
や、沿岸域地下水の研究、
実規模設備整備事業、原子
力機構が資源エネルギー庁
から受けている11億6千万
円の委託研究費の幌延関係
予算や決算の総額はいくら
か。
- 町長** 町としては把握して
いない。
- 質問** 原子力機構が受けて
いる11億6千万円の内訳は、
町として知らない。
- 質問** 資源エネルギー庁の
お金は、地層処分研究のお
金だと考えていいのか。
- 町長** 直接原子力機構に聞
いて欲しい。私の承知して
いるところは、幌延町は処
分の研究している所だから、
当然処分研究費に使ってい
ると思う。

税金・使用料の 滞納現状はいかがか



斉賀 弘孝

- Q** 公務員給与の引き
下げは？
A 行なわない。
Q 回覧事務委託はど
うなる。
A 戸数3戸以下は直
接各戸郵送とする。

地域の課題 をとらえて 2氏が一般質問



どうする 深地層研究センター



驚見 悟

幌延町が進めている
深地層研究センター
について

- 質問** 給与の引き下げをし
ないのは、どのような決定
経過があったのか。
- 町長** 行政改革、機構改革
実施の効果に基づき、普通
交付税の影響額の試算を行
い、内部協議を重ねた。
- 質問** ラスパイレス指数の
推移は。
- 町長** 平成20年度から平成
24年度までの5年間平均は
94・4となる。
- 質問** 一般会計の滞納額は、
町長 町民税6百5万、固
定資産税4百41万、軽自動
車税13万円。国民健康保険
税1千2百23万円。
- 質問** 各種使用料の滞納状
況は。
- 町長** 保育所使用料、公営
住宅使用料、土地賃借料、
後期高齢者医療保険料、介
護保険料、水道使用料、受
託工事収入、下水道使用料、
診療所使用料に滞納があり、
総額1千万円。
- 質問** 各種使用料の滞納は
どう推移しているか。
- 町長** 24年度繰越総額は8
百50万円、23年度は7百90
万円、22年度は7百91万円。
質問 不能欠損金は。
- 町長** 24年度では町民税と
国保税合せて25万円。生活
保護で滞納処分の執行停止
を受け3年間継続したこと
により、納税義務が消滅。
質問 差し押さえないの
は？
- 町長** 自分から納税しても
らうのが1番良い。6月20
日、(税等収納対策推進)
本部会議を開き検討する。
- 質問** 行政事務委託の回覧
は、どう変わるのか。
- 町長** 本年より地区戸数が
3戸以下の行政事務委託を
廃止し、広報誌などを直接
郵送する。
- 質問** この地区が該当す
るのか。
- 町長** 新聞寒別町内会の一
部の地区。
- 質問** 回覧を配って、安否
確認や地区の絆を高め人の
触れ合いを広くするという
経費費用には代えられない
効果はどうなる。
- 町長** 自治体活動にはいろ
いろあると思うので、その
中でコミュニティを深めて
いきたい。

第2回 幌延町議会 臨時議会

5月23日

臨時会が5月23日に開催され、報告1件、承認1件、議案2件を原案のとおり可決し、同日閉会した。

国民健康保険税条例の一部を改正

国保税引き上げ

1世帯年3万6千円負担増

(会計課調べ)

国民健康保険事業に要する費用に充てるための所要額を確保することが困難なことから、税率を引き上げる。

本来の所要額を求めた場合、大幅な引き上げになることから、宗谷管内の均衡を考慮した。

基礎税額の医療給付費の賦課限度額を、47万円から法定限度額51万円に、後期高齢支援金分などを含めた法定限度額合計では、73万円から77万円となる。

問 以前からお願していた

が、町民に国民健康保険を理解してもらうPRが改善されていない。更には作成するといった「福祉の手帳」も未だ見ない。

答 広報等を通じ、改正或いは運営方針について逐次周知している。ホームページ等の情報提供は更新しよう作業中。

問 先の町内会長会議でなぜ周知徹底しなかったのか。

答 議会で議決後というふうと考えていた。

問 どこまで保険税を上げていくのか。上を上げる事により、下も全部上がって行くのではないか。

答 低所得者世帯が30軒あり、その中での調整というところで議会に提案した。国保運営委員会にも説明した。

問 宗谷管内の中間的数字だが、非常に高い。一般会計からの繰り入れも一定程度必要でないのか。

答 それらも今後そういう状況になった場合、議会皆さんと相談する。

質疑のあと、討論を省略し原案のとおり決定する事に異議はないかとの議事進行に異議があり、討論をして採決の結果、賛成多数で可決となった。

反対意見

斎賀議員

町長の言う情報の共有という面からも、町民に対して周知徹底して理解をいただいてほしい。

滞納の話があった先日の町内会長会議においても、行政側の強い対応の話がなかった。

今回は時期尚早、もう少し今までの話を踏まえて対応していただきたい。

鷺見議員

値上げ案の資産割については宗谷管内で一番高い。所得が無くても資産があれば大変重い負担である。管内では基金のない町村もあり、一般会計からの繰り入れも含め、町全体で福祉政策について議論しなければ、国保会計だけの値上げでは住みにくい町になる。

賛成意見

西澤議員

そのまま改正すると大幅な値上げになるので、宗谷管内の平均という形の値上げは低所得者への配慮もある。PRや情報共有は、今後町部局として対応していくと話している。

植村議員

頭の痛い状態となっているが、これを粛々と進めていかなければ将来に禍根を残す。根本的な問題は、国自体がきちんと運営していることだが、今の制度の中では出来る範囲で安心安全を確保するのが重要な責務と思う。



第4回 幌延町議会 臨時議会

7月2日

臨時会が7月2日に開催され、議案2件を原案どおり可決し、同日閉会した。

議案第1号 「財産の取得について」

除雪専用車7tを購入。契約金額は、予定価格2千8百95万9千円に対して、90%に相当する金額である。

問 新たに増設か、それとも別な車との取り換えという形になるのか。

答 一応事業上の取り扱いとしては増強。ただ、現在走っている車は、町が所有する散水車が走っているのが相当老朽化している、除雪に耐えられないという状態であり、新たに専用車を入れるという事である。

議案第2号 「平成25年度幌延町一般会計補正予算」

雪解けによる出水で、道路横断管損傷による道路陥没が各所で発生したことに伴う道路修繕費である。金額は5百76万1千円である。

常任委員会 報告

第3回総務文教常任委員会

4月16日

不祥事再発防止対策委員会の報告

西尾副町長が、「再発防止対策委員会報告」の説明を行った。今後の対策として①公務員倫理の啓発。②管理監督の向上。③規則、規程等の遵守。④事業分掌の見直し。⑤規則等の制定。⑥町監査委員による監査などである。

《質疑応答》

質 問 調査されたのは（警察）4年間だが、それ以前までの流れはどうか。

副町長 それ以前については良くわからない。

質 問 本人の退職金の扱いはどうなっているのか。

副町長 元職員については、退職金は支給しない。

質 問 当時の経済課長から処分の不服申し立てが出ているが。

副町長 留萌地域公平委員会審査している。

質 問 指名入札停止業者は何社か。

副町長 2社です。

第4回総務文教常任委員会

6月3日

―総務課所管―

①電源立地地域対策交付金について

交付金は平成12年から平成24年まで総額で19億円、年平均で約1億4千6百万の交付を受けてきたところである。そのうち平成16年から平成18年の3ヶ年に亘り、住民に還元するという事で毎年1千3百万円、1戸当り8千円を住民に給付してきたが、今回も平成26年から平成27年の2ヶ年に限り還元したい。平成27年度以降については、状況を考慮し再検討したい。

《質疑応答》

問 2年間に限定した理由は。

答 とりあえず現町長の任期中の2年間ということを決めた。

②国道40号天塩防災事業について

25年度の事業は、作返から元町までの延長3.4kmになる。その他は、環境調査が予定されている。

《質疑応答》

問 3号線との交差についてはどうなる。

答 幌延3号線との交差部分は立体交差になるとの事です。

第2回産業厚生常任委員会

4月2日

―調査事項―

(1)道路の構造の技術的基準等を定める条例及び高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る道路の構造に関する基準を定める条例について

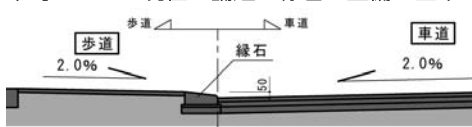
①条例制定に係る考え方
地域主権改革一括法の制定によるものであり、地域の実情に応じて異なる内容の規定が許容されるが、その範囲が明確ではないこと、道路構造令は遵守すべきもの等を踏まえ、策定した。

そのため、歩道構造等は従前と異なる内容になる。

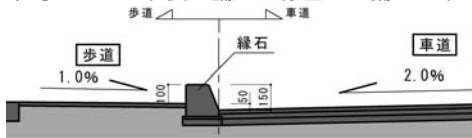
②今後の方針

経過措置として、北1丁

本町における現在の舗道・縁石の整備の基準



本町における今後の舗道・縁石の整備の基準



目線と2条件通線は今までの形で行いたい。また、歩行者が多く出入口が連続する場合には、現状のバリアフリータイプで考慮する。縁石線については、出入口、または横断箇所は低くする。

第3回産業厚生常任委員会

5月10日

―調査事項―

(1)幌延町国民健康保険特別会計の運営状況について

①国民健康保険特別会計の現状について

各年度の歳入歳出差引については黒字となっており、H22年度以降赤字が続いている状況にあり、H23年度以降、基金を取り崩して財政運営をしている。そのようなことから、H24・25年度の2ヶ年をかけて税率を改正することで理解をいただいている。

財政調整基金の残額は、2千1百5万円まで減少している。

保険税の算定基礎になる保険給付費、後期高齢者支援金、介護給付金は今後増加すると予想される。

②H25年度国民健康保険税

改正（案）について

予定どおりの改正を検討したが、必要経費等の増加により想定していた以上に引き上げ幅が大きくなることから、保険者の大幅な税負担を抑えることも考慮し、財政調整基金の一部を活用し、なおかつ地域（宗谷総合振興局管内）の平均的な額を基準として検討し設定した。具体的には各区分の税率改正及び、医療保険分に係る賦課限度額を現行の47万円から51万円に引き上げるものである。

第4回産業厚生常任委員会

6月3日

―調査事項―

(1)町道上幌1号線道路法面災害復旧工事の経過報告

被災原因は、泥炭性の粘性土が主体で降雨による盛土及び基礎地盤の飽和化によって強度が低下し、崩落した。地質調査結果に基づく現状解析の結果、滑りに対する対策が必要である。工法の検討結果、押え盛土工法を選択し、9月末の工期を予定している。

第2回・第3回・第4回 議会質疑 ダイジェスト版

第2回（5/23）臨時会

斎賀議員 幌延町立病院の解体において、地域（商工会や町の人）的メリットはあるのか。

高田経済課長 飲食関係への波及効果はあるのでは。

鷺見議員 建物の下地の地杭はどう処理するのか。

高田経済課長 木杭と聞いているが、1百80本程度ある。全て引き抜く考え。

第3回（6/13）定例会

吉原議員 土木費で構造物復旧測量費調査とは何のことか。

高田経済課長 例えば横断管とか橋などで、そういうものを想定した委託費。大雪などの影響か、横断管（道路）がずいぶん傷んでいる。委託をかけて調査する。

第5回（7/2）臨時会

斎賀議員 除雪車（7t）の指名競争入札は、何社で入札したのか。

高田経済課長 3社で競争入札をした。2千6百7万円決定した。

佐々木議員 増設という考え方（夏場使用している散水車を冬場使用しないで幌延地区を購入車が走る）ですが、道の委託なども増えている中で、十分まかなうことが出来るのか。

高田経済課長 下沼の浜里下沼線を受託している。この車両が入ることによって、変らぬ体制が組めると思う。

佐々木議員 （6月議会）橋や横断管が老朽化していることで調査費を計上したが、今回修繕費として補正であげたのか。

高田経済課長 今回の修繕料の増額は、道路横断管で、橋梁については入っていない。凍結や排水路等の水位の上昇により道路横断管が壊れ、道路が陥没した。

佐々木議員 横断管については、コルゲート管を多く使っていると思う。道路の陥没などで車の事故なども考えられるが、そういった調査などをする必要がないのか。

高田経済課長 指摘されたとおり、ほとんどがコルゲート管。本線の道路横断については、数年前から数カ所調査して来ている。畑の取付道路などがあるが、農家の方から指摘や通報をお願いしたい。



第3回定例会より

・諮問第1号

人権擁護委員の推進につき意見を求めることについて

人権擁護委員



三好 和夫さん

（字問寒別）

9月30日で2期目の任期満了となり、新たに10月1日より、3年間任期となります。

あなたの声を議会だよりに!!

議会に対するご意見や、議会だよりを見て感じたことなど、町民皆さんの声をお気軽にお寄せください。



議会を傍聴に 来てください。



町内視察

天塩防災事業にかかわる国道40号線の改修工事について

6月13日定例議会終了後、幌富バイパスの駐車場において、留萌開発建設部担当者より、立体交差（町道3号線）の説明があり、現在の道道とは平面交差となる見込みの説明がされた。

新天塩大橋のイメージは左図の通りです。



平成25年度
北海道町村議会
議員研修会
(札幌市)

平成25年度の全道町村議会議員が一堂に集う議員研修会が6月27日、札幌市コンベンションセンターで開催され、幌延町議会からも参加しました。

総勢千人が集まる会議は圧巻でした。「議会改革に期待する」と題して講演した片山善博氏は、テレビなどでも馴染みですが、現在は慶應義塾大学教授です。過去に鳥取県知事、総務大臣を歴任し、豊富な要職経験で問題点を指摘しました。特に、滋賀県大津市で起きた「いじめ事件」では、教育委員会の在り方や議会の関わり方について批判し、問題点を指摘していました。

次に政治アナリストとして活躍している伊藤惇夫氏が、「参院選の行方と安倍政権の課題」と題して講演し、好調維持している安倍政権の分析と国民の期待感

に触れていました。景気回復が「アベノミクス」の掛け声だけに終始している懸念も指摘し、労働者や非正規社員や派遣労働者への配慮についても触れていました。



h25.6.27 北海道町村議会議員研修会

議会の動き

- 4月16日▶第3回総務文教常任委員会
- 4月18日▶第38回議会報発行特別委員会
- 5月10日▶第3回産業厚生常任委員会
- 5月23日▶第2回臨時会
- 5月23日▶第3回議会運営委員会
- 5月29日▶各種期成会総会(士別市)
- 5月30日~31日▶宗谷管内議会議員研修会



(利尻町)

- 6月3日▶第4回議会運営委員会
- 6月3日▶第4回総務文教常任委員会
- 6月3日▶第4回産業厚生常任委員会
- 6月3日▶第4回全員協議会
- 6月5日~6日▶北海道町村議会議長会総会(札幌市)
- 6月10日▶第5回議会運営委員会
- 6月11日▶北留萌消防組合議会(羽幌町)
- 6月13日▶第3回定例会
- 6月13日▶第39回議会報発行特別委員会
- 6月18日▶第40回議会報発行特別委員会
- 6月27日~28日▶北海道町村議会議員研修会(札幌市)

- 7月2日▶第4回臨時会
- 7月2日▶第41回議会報発行特別委員会
- 7月5日▶第42回議会報発行特別委員会
- 7月17日▶第43回議会報発行特別委員会

平成25年度
宗谷管内町村議会
議員研修会
(利尻町)

毎年行われている議員研修会が、5月30日「利尻町交流促進施設どんと」を会場にして、宗谷管内議員、事務局職員約百名が参加して行われました。研修では「私の見た南極、みんなにできること」と題して、稚内市教育委員会職員市川正和さんが講演しました。市川さんは、1年半に亘って南極地域観測に参加さ



h25.5.30 管内議員研修会

れ、昭和基地、環境問題などについて話をされました。その後、利尻町立博物館、仙法志御崎公園を視察し、5月31日、全員幌延へ帰ってきました。

編集後記

このたび議会報編集委員の改選にあたり、四名の編集委員が交替し、私が議会報の委員長として任に着くことになりました。もとより浅学非才の若輩者ですが、みなさんの期待に充分に応えることはむずかしいと思いますが、「わかりやすい広報」をめざして、また「読みやすい広報」をめざして編集委員一丸となって頑張りますので、よろしく願います。



編集委員長 鷺見 悟
副編集委員長 斉賀 弘孝
編集委員 吉原 哲男
植村 敦